

ねやがわ

令和3年(2021年)2月1日号

No.239

議会だより



ヨウコウザクラ(令和2年2月)

誌面のご案内

定例会のあらまし	1
一般質問	
ねやがわ未来議員団	2・3
公明党市会議員団	4・5
大阪維新の会議員団	5
日本共産党市会議員団	6
無所属議員	6
議決結果一覧	7

12月定例会を開催

- ・令和元年度決算を認定
- ・一般質問で議員16人が登壇
- ・第六次寝屋川市総合計画
基本構想を可決

令和2年12月定例会

寝屋川市議会は、11月30日から12月21日までの22日間にわたり、令和2年12月定例会を開催しました。

この定例会では、市長から提案された34件の議案のほか、議員が提案した意見書3件を審議しました。

また、一般質問は、12月16日・17日の2日間行い、16人の議員が市政について質問しました。

令和元年度決算を認定

9月定例会に提案され、閉会中の継続審査となった、令和元年度一般会計・特別会計・公営企業会計の歳入歳出決算は、10月5日、6日、7日及び13日に開催した予算決算常任委員会での審査を経て、いずれの会計も全会一致で認定しました。

意見書

12月定例会で可決し、内閣総理大臣を始め、関係大臣等に送付した意見書は、次のとおりです。

- ◆犯罪被害者支援の充実を求める意見書
- ◆不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書
- ◆住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書

人事案件

人権擁護委員（道上 雅司氏、荒木 裕美氏）の任期満了に伴い、引き続き推薦することについて適任としました。

議案の概要

第六次寝屋川市総合計画 基本構想の策定

第六次寝屋川市総合計画を策定するに当たり、寝屋川市みんなのまち基本条例第19条第2項の規定により、総合的かつ計画的な市政運営を図るための基本構想を定めるものです。

基本構想は、市の目指す将来像や基本姿勢を定めるとともに、社会情勢の変化や課題に対応し、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていくために、戦略的に実施する施策の方向性を示すものです。

重度障害者の医療費の助成に関する条例等の一部改正

福祉医療費助成制度に関する大阪府の制度改正を踏まえ、「精神病床への入院に係る給付」を医療費助成の対象とするなど、各医療費助成制度の見直しを行うため、本条例等の一部を改正するものです。

指定管理者の指定

令和3年4月からの指定管理者の指定を次のとおり行うものです。

- 寝屋川市立市民会館：株式会社ケイミックスパブリックビジネス
- 寝屋川市立各コミュニティセンター：各コミュニティセンター運営協議会等
- 寝屋川市立中央高齢者福祉セン

ター：特定非営利活動法人かわちモアCOM。

○すばる・北斗福祉作業所、大谷の里：社会福祉法人療育・自立センター

○寝屋川市立国道1号高架下駐車場：アドバンス寝屋川マネジメント株式会社

○寝屋川市立学び館：特定非営利活動法人笑顔

○寝屋川市立地域交流センター：株式会社アステム

一般会計補正予算 (第9号・第11号)

令和2年度一般会計補正予算(第9号・(第10号)及び(第11号)は、5億5186万4000円を増額するもので、主な内容は次のとおりです。

○高齢者等のインフルエンザワクチン接種事業に係る経費の追加

〔1億5460万3000円〕
○水道料金(基本料金)免除負担金の追加

〔2億4381万4000円〕
○新型コロナウイルス感染者等感染拡大防止協力支援金

〔8279万4000円〕
○児童・生徒等感染拡大防止協力支援金

〔4521万2000円〕
○ひとり親家庭臨時特別給付金(国施策)

〔1億6546万3000円〕
これにより、令和2年度一般会計予算歳入歳出の総額は、1225億7351万円となりました。

ねやがわ未来議員団

子どもたちの未来への投資と

合成の誤謬に陥らない自治体

経営

井川 晃一
金子 英生
北川 健治
北川 光昭
西尾 勝成
馬場 才
板東 敬治
久野 須賀子
山崎 菊雄
吉羽 美華

女性の声を生かす取組を

問 少子化の原因に女性の減少がある。女性に好まれるまちづくりを目的に、女子高生を始め、各年代の女性の声を拾い上げるシステムと場の創出が必要では。

答 女性の声・意見を把握し、その声に即した施策・事業を立案等することは、子育て世代を中心とした若い世代の新住民の誘引等を図る上で重要な手法と考える。引き続き、女性に特定した声の把握等に努める。

ひきこもり支援

問 相談件数と訪問件数の推移は。
答 令和2年度11月末現在で相談延べ数が278件、訪問延べ数が44件と増加傾向にある。

問 進路不決定者や高校・大学中退者の把握や支援は。

答 全数の把握は困難だが、若年層への支援について、教育委員会とも連携してサポートしている。

問 出口までしっかり追っているか。
答 関係機関と連携し就労支援につ

いてもサポートを行っている。

問 8050問題等への「ことわらない」支援体制はどうか。

答 相談を受けた際、当事者・家族が孤立することなく、信頼関係を築けるよう支援を継続していく。

問 暮らしを全部見る視点で組織を包括して取り組む自治体も増えてきたが、出口も見据えた市の考えは。

答 深刻な問題と認識しており、多くの人が関わりないと解決しないとも考える。問題に対し市から1つの処方箋を発信できるような取組も検討したい。

都市計画道路「寝屋川公園駅前線」開通による影響

問 開通して約2か月が経つが交通弱者の事故、交通事故について把握しているか。

答 交通弱者についての事故は発生していないが、寝屋川公園駅前線と府道枚方富田林泉佐野線の交差点において、現在までに3件の事故が発生している。

問 枚方寝屋川消防組合によると、

当該道路で合計6件の救急隊が出動した事案があるとのことだが、見解は。

答 横断歩道や信号機が設置されない中開通し、対策は行ってきたが、事実は深く受け止める。交差点の信号や横断歩道の設置について強く大阪府警に要望するとともに、随時車両や歩行者の安全対策を行っていく。



寝屋川公園駅前交差点

花と脳科学とまちづくり

問 花は、人の精神面や脳に好影響を与える。そこで、道路の拡幅工事の現場や、各駅周辺、幹線道路など、花を増やす取組を強化しては。

答 工事を進める中で施工業者と協議し、花やみどり等でイメージアップを図る。駅周辺等は、各種団体の協力を得ながら緑化を一層推進する。

バスについて

問 令和3年度にスタートする70歳

以上の100円バス事業は評価する。事業継続に寄与する経済・医療等の効果を検証してはどうか。

答 利用実態の把握に努める。

問 乗合いワゴンの全市的運用は難しいこと等を鑑み、市内4駅及び病院やスーパー等と市内公共施設を1日中移動する循環バスを要望するが。

答 循環バスを運行するとなると、既存バス路線への影響等、様々な課題があると聞き現在の運行となっている。

2050年までに温室効果ガス排出量ゼロにする取り組み

問 市の業務全般で温室効果ガスの排出量の多い順に5つは。

答 廃棄物の処理、電気の使用、燃料の使用、自動車の使用、その他の順。

問 再生エネルギー等と原子力発電について1kWhのCO2排出量の原単位を少ない順で。

答 中小水力発電11gCO2/kWh、地熱発電15gCO2/kWh、原子力発電22gCO2/kWh、風力発電29gCO2/kWh、太陽光発電53gCO2/kWh。

問 化石燃料系などの数値は。

答 石炭火力発電975gCO2/kWh、石油火力発電742gCO2/kWh、LNG火力発電608gCO2/kWh。

第四中学校区小中一貫校整備事業

問 建設にあたり、補助金・交付金などの対象になるものは。

答 国土交通省、都市構造再編集支援事業による国庫交付金約21億円、文科省、学校施設環境改善交付金及び負担金約6900万円を申請予定。併せて交付税措置のある地方債の活用も想定している。

問 施設分離型（現在）とでは、学校の運営方法は違いがあるのか。

答 違いはない。生活指導及び生徒指導についても「ねやがわスタンダード」でも示す基本的な生活習慣の定着等、生徒指導観の共有を行うことが重要と考える。登下校の在り方についても、施設分離型と同様に、通学経路等、学校と保護者が検討し決定していく。

問 他小中学校の老朽化、少子化の流れもある中、今後施設一体型の小中一貫校が増える可能性はあるか。

答 児童・生徒数の推移等の見極めや、公共施設等総合管理計画に基づく個別計画等を踏まえ、全市的な学校施設の在り方を検討する中で議論していく。

GIGAスクール構想

問 教職員の負担軽減と児童・生徒をサポートする「ICT支援員」については国が示すのは4校に1人。本市では小中36校で、9名を早期に配置すべきと要望するが見解は。

答 新たに専門職員3名を配置予定。

問 支援学級でのタブレット端末について、児童・生徒一人一人の可能性が広がるような利活用を要望する

が見解は。

答 効果的な活用が学習意欲を高め、自信につながることから、適切な事例を収集し、周知に努める。

小中学校のトイレの改善

問 文部科学省の「公立学校施設のトイレの状況について」という調査結果が公表された。トイレの整備方針と本市の洋式化の状況は。

答 文部科学省からの調査結果を受けての本市の対応は、現在洋式化率は46.7%であり、今後について公共施設等総合管理計画に基づく個別計画、及び学校施設の長寿命化計画等を策定する中で適切に対応していく。

就学前教育と「寝屋川教育」など

問 「寝屋川方式の学習法」、「寝屋川教育」が寝屋川市の就学前教育に与える影響と取組は。

答 就学前教育は「寝屋川教育」の一部であり小中学校の教育と連続したものと考え。現在、総合教育研修センターにおいて、市立幼稚園と近隣の小学校が連携し「幼児期の終わりまでに育つてほしい姿」を踏まえた「考える力」の育成につながる研究に取り組んでおり、さらに私立幼稚園、市立保育所、民間保育園、認定こども園とも連携を進めている。

保育士の確保と処遇改善

問 保育士確保の観点から、家賃補助について、採用時の他市からの転

入だけでなく、採用前から寝屋川市内に住む保育士も補助対象とすることを要望するが見解は。

答 現時点において、制度変更については考えていない。

留守家庭児童会

問 留守家庭児童会の職員の障害児加配制度を充実させるため、障害区分「その他」の認知数について、現場の認識と乖離があり、改善・解消することを要望するが見解は。

答 保護者や各児童会及び青少年課との情報共有や連携強化により解消を図っていく。

「接客フロ」の正規職員化の是非

問 今春採用の窓口職員（いわゆる接客フロ）の正規職員化は理解に苦しむ。他の専門職種の職員採用との関係で不公平ではないか。

答 窓口職員については、正規職員への登用を前提としていた。

問 3月の予算審議時には「正規職員化は決して前提ではない」と答弁されており、また募集要項、条例規則の文言とも齟齬がある。説明を。

答 当初から予定していた。

接客以前に「税務の基本」を確実に

問 従前あつた滞納債権整理回収室を現市政になつてなくし、（滞納処分としての）差押件数が5分の1に落ち込んでいるが、この問題をどのように考えているか。

問 厳格な滞納処分に努める。開庁時間の延長（朝、夜間）につき時間当たりの処理件数（いわゆる二ス）が乏しい。他方、職員の時間外勤務が高止まり。経営感覚として見直し、合理化を図るべきでは。

答 市民の皆さんからお喜びの声も聞こえている。需要はある。

▶ 第六次総合計画特別委員会を開催 ◀

－市の将来像等を定める「基本構想」を可決－

12月定例会に提案された「第六次寝屋川市総合計画基本構想の策定」を審議するため、11月30日の本会議において第六次総合計画特別委員会を設置しました。

同委員会では、12月8日に会議を開催し、基本構想に対する質疑、討論を行ったのち、異議なく原案のとおり可決されました。

第六次総合計画特別委員会委員

委員長	敬治
副委員長	雄介
板東	賀子
高馬	須賀
久野	美華
吉羽	順一
村上	大輔
奥	和江
中林	

公明党市会議員団

感染症防止対策を切れ目なく 新たな局面への挑戦！

村上 順一
池添 義春
岡 由美
高見 雄介
辻谷 恵一
野々下 重夫

新型コロナウイルス感染症対策について

問 感染拡大が急速に進む中、介護従事者・医療従事者などのエッセンシャルワーカーの希望する方に感染拡大を抑えるため、PCR検査等の拡充を。

答 感染予防策として重要であると認識しており、重症化リスクや施設規模等を考慮し検討する。

問 会派要望した「高齢者・障害者施設運営に関するガイドライン」を作成後、各施設に対するアプローチ及び感染症対策の周知は。

答 11月下旬に高齢者・障がい者施設に対しガイドラインを説明した上で配付し、現在、チェックシートを用いてガイドラインに沿った対策がなされているか確認し、感染拡大防止の徹底を図っている。

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保について

問 いつまでにどのような体制を準備するのか。市の考えは。

答 感染予防策として市民生活に直結する最重要事案であると認識して

おり、国の動向を注視する中で、的確に進めていく。

「GIGAスクール」構築について

問 一人一台の端末で学校から未来を拓く活動が始まる。情報リテラシーの向上と支援が必要な子どもへのサポートが課題であるが、取組は。

答 子どもの発達段階に応じた情報活用能力の育成と、個々の状況に応じた、きめ細かな支援が重要であると考えている。



タブレット端末での学習風景（イメージ）

学校健診について

問 学校に行けない不登校児童生徒は未受診となっており、市として健康管理に課題がある。学校医を派遣するなど様々な方策が考えられるが、見解を問う。

答 今後、個々の児童生徒が少しでも受診しやすい様々な方策を全校で実施できるよう検討していく。

通学路における安全・環境対策（受動喫煙）について

問 通学路・喫煙禁止区域における受動喫煙対策の強化を。

答 受動喫煙防止条例の趣旨について更なる周知に努め、受動喫煙防止への御理解、御協力を求めていく。

訪問型の産後ケアについて

問 地道なアウトリーチを続けることが潜在的な要支援家庭に光を注ぐことになる。産後ケアの利点を生かし、訪問型に取り組むことを求める。

答 非常に重要な事業として認識している。今後、産前産後の助産師訪問についても拡充するなど、支援事業の充実に取り組んでいく。

ネウボラシステム導入について

問 本場フィンランドにおけるネウボラの必須システムは「担当保健師の継続支援」と「家族全体の支援」である。母子保健は家族全体の心身の状況と大きく関連する。導入に対する所感ほ。

答 妊娠期からの切れ目ない支援をより充実するためにはネウボラの理論は大変有用であると認識しており、本市の母子保健、家族支援を「層充実し、切れ目のない支援につなげるため」に、今後、調査研究していく。

窓口改革・接客のプロの配置について

問 シルバー世代や障がい者、子育て世代の皆様の相談者が、多く来庁される池の里市民交流センターと保健福祉センターにも接客のプロの配置の検討を。

答 今後、全庁的な市民サービスの改革を行うなかで、必要に応じて検討する。

市役所宛郵便の無料について

問 密を防ぐため来庁者数を抑える取組として、郵便利用は欠かせない。新型コロナウイルス感染症の感染拡大期に限り、市役所宛の郵便料を無料にする取組を行って頂きたい。後納郵便を市として市民に活用させて頂きたいが、見解を問う。感染拡大期の期間限定での取組として提案する。

答 新型コロナウイルス感染症の感染リスクの抑制に有効であり、早急に調査し、検討を進めていく。

行政手続において押印廃止と書面主義の見直しについて

問 押印廃止と書面主義の見直しを市民サービス向上のため、早急な対

大阪維新の会議員団

未来を見据えた

実のある政策提言

応を要望する。介護・障がいサービスの分野でも押印廃止や必要書類の見直し等も検討できないか。

行政手続のオンライン化を図るためにも、福祉サービスの提供に関わる書類を含め、書類への押印は合理的な必要性が認められる場合に限り

ることを基本に、押印の廃止に積極的に取り組んでいく。今後における行政手続のオンライン化の推進を念頭において、書類自体の必要性を検証するとともに、書類の記載事項や添付書類の簡素化を進めるよう、周知徹底を図っていく。

中川 健
奥 大輔
中谷 剣将
福田 篤志

市立幼稚園について

近年、市立幼稚園の園児数の減少が顕著であるが要因を伺う。

少子化の進展や保育所園への入所率の上昇、幼児教育・保育の無償化などが考えられる。

少子化、保育ニーズの高まり、幼児教育の充実の観点から、公立のこども園を設立すべきと考えるが見解を伺う。

寝屋川市立幼稚園・保育所の在り方に関する審議会で議論いただけるものと考えている。

幼児教育について

幼児教育機関において、小中一貫の教育である「寝屋川方式」の内容、趣旨はどの程度認識されているのか見解を伺う。

市立幼稚園のように「考える力」の育成に取り組んでいるところもあるが、まだ十分に理解されている状況ではない。今後、私立幼稚園・市立保育所・民間保育園・認定こども園ともしっかりと連携した取組を進めていきたいと考えている。

「寝屋川方式」について理解を深め、教育課題を共有し、幼小連携を深めるためにも小学校・中学校・



幼稚園での様子

幼児教育機関が参加する会議体が必要と考えるが見解を伺う。

現在「寝屋川方式」の理解を深めるため、市立幼稚園・小学校・中学校で合同研修を実施している。

今後は、その他市内就学前教育機関へ研修への参加を呼び掛けるとともに、会議体の設置については検討する。

幼児教育を構築するに当たり、保育課と学務課など部局を超えた取組が必要であると考えるが見解を伺う。

現在、保育課と学務課が連携を進めている。

今後は、プロジェクト・チームを新たに設置することにより、部局を超えた推進体制を構築し、就学前教育を更に推進していく。

幼児教育のプログラムを構築するに当たり、庁内のみでなく専門家を入れた会議体が必要であり、視察・研修を含め具体的な寝屋川式幼児教育プログラムを構築する必要があると考えるが見解を伺う。

新たに設置するプロジェクト・チームにおいて検討し、その内容を寝屋川市立幼稚園・保育所の在り方に関する審議会で議論していただき構築していく。

コロナ禍における商業支援政策について

これまで本市が実施した商業支援政策のような、部分、部分の支援に留まることなく行政主導の仕組みを構築し、新たな流れを作ることが必要であると考えている。ねや川バルや

サクラプロジェクトのように、行政主導の商業振興政策が必要と考えるが見解を伺う。

持続可能で地域に根を張り、効果を有する事業は、行政のみならず商業事業者を始め関係団体等と共に立案し、実行していくものと考えており、引き続きコロナ禍による市内経済情勢等を踏まえ、関係団体等と必要とされる施策を検討していく。

公共施設の在り方調査特別委員会を開催

計画(素案)に対する各委員の意見・提言の反映内容を確認

令和3年1月7日に会議を開催し、寝屋川市公共施設等総合管理計画個別計画(アクションプラン)(素案)について、各委員からの意見・提言を受けて反映した点等の説明を受け、反映内容等について確認を行いました。



日本共産党市会議員団

PCR検査の拡充で
コロナから市民を守る

太田 徹
中林 和江



市保健所

- 問** コロナ感染の拡大を抑止するためPCR検査の拡充を求める。
- 答** 保健所検査の拡充と行政検査ができる医療機関の拡充に取り組む。
- 問** 重症者病棟など医療機関の確保を大阪府に要望するよう求める。
- 答** 引き続き大阪府に要望する。
- 問** 感染経路を追跡するトレーサーの増員、保健師、事務職の採用等保健所の体制強化を求める。
- 答** 状況に応じ、人員確保に取り組む。
- 問** コロナ禍で市内業者を守るため融資制度の新規融資枠の創設、据え置き期間の延長を求める。
- 答** 引き続き、国等と連携し市として必要な支援を検討する。
- 問** コロナ禍の下、市として現行小4までの少人数学級の拡充を求める。
- 答** 国の動向を注視する。
- 問** コロナ禍の下、国保料の引き上げは見送るべき。
- 答** 急激な負担増とならないよう努める。
- 問** 来年度の介護保険料を引き上げないよう最大限の努力と低所得者減免の収入要件の緩和を求める。
- 答** 次期介護保険料と併せ検討する。
- 問** 生活保護について、年末年始の相談に支援が途切れないような対応と体制を求める。
- 答** 緊急連絡体制を確保し、関係機関との連携を密にし、適切に対応する。
- 問** 児童保育指導員が働き続けられるよう処遇改善を求める。
- 答** 財源確保等検討する。

無所属議員

信念ある行動と
政策提案の実現力

森本雄一郎

- 問** 以前、様々な走行便益が見込めることから、鳥飼仁和寺大橋の無料化実験を提案した。そして今後、車の通行料金無料化が予想される。幸町の府立高専も移転を予定していることから、高専



自動運転バスのイメージ

◆ 全員協議会を開催 ◆

～パブリック・コメント手続実施案件の6計画(素案)について～

昨年11月26日(木)及び12月21日(月)に全員協議会を開催し、それぞれ以下の内容について説明を受けました。

11月26日(木)

- ・第5期ねやがわ男女共同参画プラン(素案)
- ・寝屋川市社会教育推進計画(素案)
- ・第3次寝屋川市子ども読書活動推進計画(素案)

12月21日(月)

- ・寝屋川市国土強靱化地域計画(素案)
- ・第3次寝屋川市環境基本計画(素案)
- ・寝屋川市一般廃棄物処理基本計画(素案)



- との連携も含めた街づくりが必要と考える。幸町エリアと寝屋川市駅を結ぶ自動運転バス導入を検討してはどうか。寝屋川左右岸線を使えば、片側は川である。天井川であり、通行環境に適していると考えるが、見解を伺う。
- 答** 調査・研究していく。

議会
会
日
誌

【10月】

- 9日 全員協議会
- 13日 予算決算常任委員会
- 27日 公共施設の在り方調査特別委員会

【11月】

- 6日 議会広報委員会
- 10日 公共施設の在り方調査特別委員会
- 13日 幹事長会
- 19日 公共施設の在り方調査特別委員会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 全員協議会
- 30日 本会議第1日／第六次総合計画特別委員会

【12月】

- 1日 議会広報委員会
- 2日 健康福祉常任委員会(※)
- 3日 文教生活常任委員会(※)
- 4日 総務都市創造常任委員会(※)
- (※)各常任委員会終了後に予算決算常任委員会分科会を開催
- 7日 予算決算常任委員会
- 8日 第六次総合計画特別委員会
- 10日 議会運営委員会
- 16日 本会議第2日
- 17日 本会議第3日
- 18日 議会運営委員会
- 21日 本会議第4日／全員協議会
- 【1月】
- 7日 公共施設の在り方調査特別委員会
- 14日 市議会災害対策支援本部役員会
- 議会広報委員会



12月定例会 議決結果一覧



議案番号	件 名	議決結果
認定第1～8号	令和元年度寝屋川市一般会計歳入歳出決算認定（他 5 特別会計、2 公営企業会計）	認 定
報告第12～14号	専決処分の報告（令和 2 年度寝屋川市一般会計補正予算（第 9 号））（他 2 件）	承 認
議案第95号	寝屋川市一般職の職員の給与に関する条例及び寝屋川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	可 決
議案第96号	寝屋川市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	可 決
議案第97号	寝屋川市重度障害者の医療費の助成に関する条例等の一部改正	可 決
議案第98号	寝屋川市保健所事務手数料条例の一部改正	可 決
議案第99号	寝屋川市道路占用料徴収条例の一部改正	可 決
議案第100号	寝屋川市都市公園条例の一部改正	可 決
議案第101号	令和 2 年度寝屋川市一般会計補正予算（第 10 号）	可 決
議案第102号	令和 2 年度寝屋川市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）	可 決
議案第103号	令和 2 年度寝屋川市介護保険特別会計補正予算（第 5 号）	可 決
議案第104号	令和 2 年度寝屋川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	可 決
議案第105号	令和 2 年度寝屋川市水道事業会計補正予算（第 2 号）	可 決
議案第106号	令和 2 年度寝屋川市下水道事業会計補正予算（第 2 号）	可 決
議案第107～109号	財産の取得（図書館資料自動貸出・返却機等）（他 2 件）	可 決
議案第110～121号	指定管理者の指定（寝屋川市立市民会館）（他 11 件）	可 決
議案第122号	人権擁護委員候補者の推薦（道上 雅司）	適 任
議案第123号	人権擁護委員候補者の推薦（荒木 裕美）	適 任
議案第124号	第六次寝屋川市総合計画基本構想の策定	可 決
選第2号	選挙管理委員の選挙	当 選
選第3号	選挙管理委員補充員の選挙	当 選
議案第125号	令和 2 年度寝屋川市一般会計補正予算（第 11 号）	可 決
議員提案第12号	犯罪被害者支援の充実を求める意見書	可 決
議員提案第13号	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書	可 決
議員提案第14号	住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書	可 決

※議案内容・議決結果は、市議会ホームページでご覧いただけます。

市議会傍聴時のお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市議会傍聴時には、以下のことに御協力をお願いします。

- 消毒液による手指の消毒、マスク着用
- サーモグラフィカメラによる検温
(37.5℃以上の発熱が確認された場合は傍聴をお断りする場合があります)
- 間隔を空けた傍聴席への着席
(通常よりも席数を減らしており、傍聴できない場合があります)

3月定例会の日程（予定）

- 2月25日（木）= 本会議
 26日（金）= 健康福祉常任委員会・分科会
 ※午後2時…文教生活常任委員会・分科会
 3月 1日（月）= 総務都市創造常任委員会・分科会
 3日（水）= 本会議
 9日（火）、10日（水）= 本会議（代表質問）
 11日（木）、15日（月）= 健康福祉常任委員会・分科会
 16日（火）、18日（木）= 文教生活常任委員会・分科会
 22日（月）、23日（火）= 総務都市創造常任委員会・分科会
 25日（木）= 本会議

◎いずれも午前 10 時から（2 月 26 日の一部を除く）。議事の都合で変更される場合があります。